

基山町ため池ハザードマップ

池の坂、菖蒲坂、八幡池、向平原、桜の堤上、桜の堤(下)、南田、亀の甲

令和3年3月作成 基山町 産業振興課 TEL 0942-92-7945
〒841-0204 基山町大字宮浦666

ライフライン関連機関

警察 110		消防・救急 119	
鳥橋警察署 基山交番 鳥橋三基基地区 消防事務組合 消防本部 鳥橋消防署基山分署 九州電力 鳥橋営業所 NTT西日本 佐賀東部水道企業団 三基基営業所	0942-93-2131 0942-92-2018 0942-85-0119 0942-92-7911 0120-986-302 0120-444-113 0942-89-2888 0942-83-2905	基山町役場 (総務企画課) 佐賀県庁 東部土木事務所 東部農林事務所 佐賀地方気象台 国土交通省 筑後川河川事務所 国土交通省 佐賀国道事務所 鳥橋維持出張所	0942-92-7915 0952-24-2111 0942-83-4176 0952-55-9760 0952-32-7025 0942-33-9131 0942-83-2905

指定避難所

(災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第49条の7)

施設名称	所在地	電話番号	対象となる災害の種類		
			洪水	土砂災害	地震
基山町民会館 (自主避難所としても指定)	宮浦666	92-1211	○	○	○
基山町総合体育館 (武道場を含む)	宮浦666	92-2822	○	○	○
基山町保健センター (福祉避難所)	宮浦666	92-2045	○	○	○
基山中学校	宮浦941	92-2203	○	○	○
基山小学校	宮浦41	92-2431	○	○	○
若基小学校	けやき台2-2	92-0410	○	○	○
基山町多世代交流センター憩の家 (福祉避難所)	宮浦1026-1	92-8295	○	○	○
基山つ子みらい館 (福祉避難所)	宮浦759-1	92-2305	○	○	○
基山町合宿所 (福祉避難所)	宮浦695-6	92-7935	○	○	○

指定緊急避難場所

(災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第49条の4)

施設名称	所在地	電話番号	対象となる災害の種類		
			洪水	土砂災害	地震
2区公民館	園部2339-1	なし	×	○	○
7区公民館	長野570-8	なし	×	○	○

～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください。

- 動きやすい服装で。
- 荷物は最小限。
- 足元に注意。



- 避難は徒歩で。
- 指示に従いましょう。



ため池 決壊想定 イメージ

1 大規模地震により堤防が破損
・・・亀裂や堤防前面の滑落など

2 大雨の増水により堤防が破損
・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など

決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

高台に避難してください!

町からの**避難情報**に注意しよう!

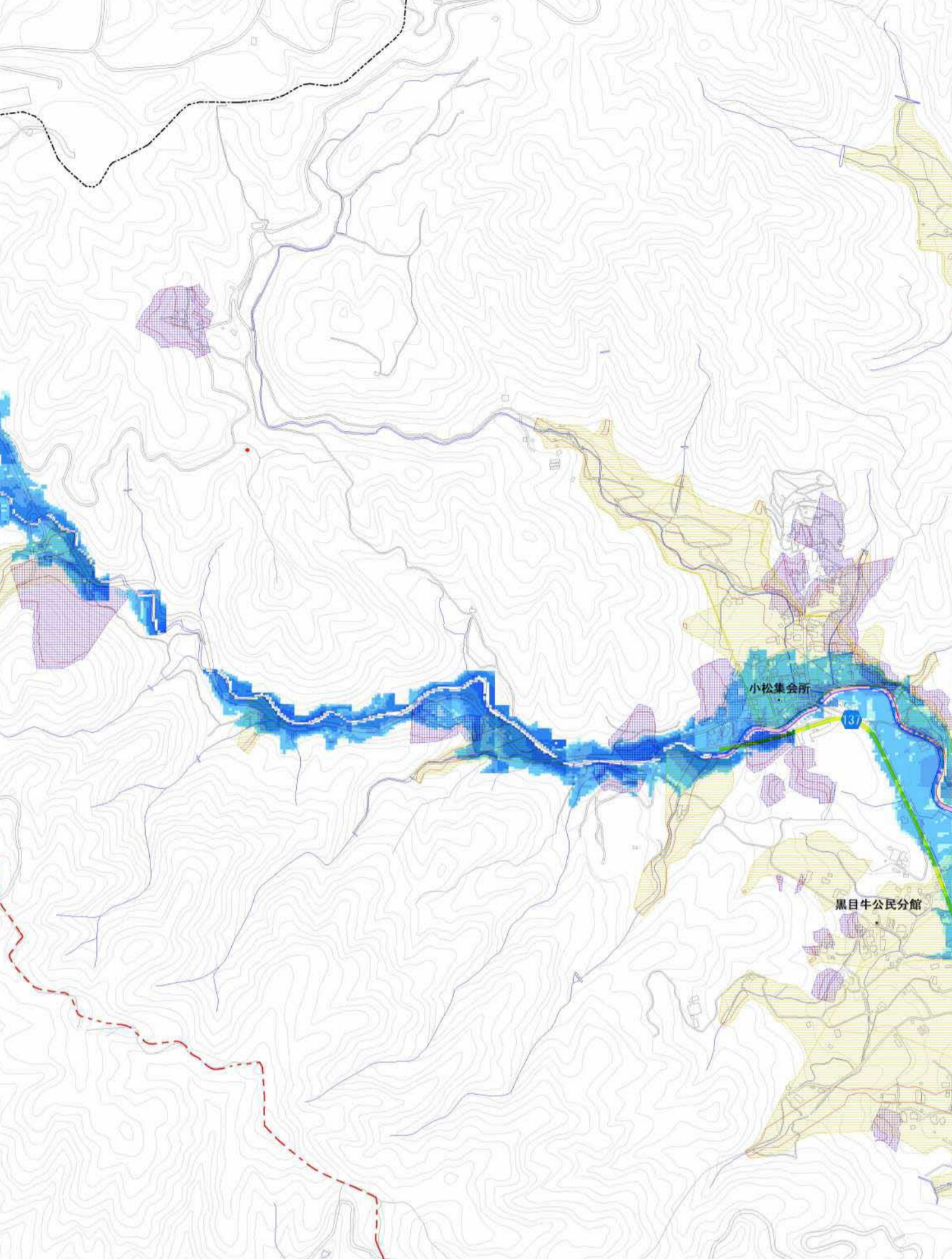
警戒レベル	住民が取るべき行動	行動を促す情報
警戒レベル 5 災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1 ※1 市町村が災害の状況を把握し、把握できるものではない。このレベルから、警戒レベルは必ず発令されるものではない。
警戒レベル 4 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
警戒レベル 3 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者は避難※2 ※2 高齢者以外の人も必要に応じ、普段の行動を見直し避難の準備を促す。	高齢者等避難
警戒レベル 2 気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
警戒レベル 1 今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池すべての貯水量が流出する状況を想定しています。このマップは、浸水の深さを色で示しています。表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

※避難時の注意事項 簡条 (家族で避難時についての決り事などを事前に話しておきましょう。)

1. 震度6強以上(目安)の地震時、または避難指示等が出されたら速やかに避難する。
2. 可能な限り、家に留まらずに高台を目指して避難する。
3. まわりの浸水状況に十分注意しながら落ち着いて避難する。
4. 避難経路については、事前に確認する。
- 5.
- 6.

注: 5. 及び6. については、各家庭で記入してください。



■基山町内の防災重点ため池一覧

No.	ため池名	堤高 (m)	総貯水量 (m³)	25mプール換算 [※]
1	池の坂	4.40	4,200	6杯
2	菖蒲坂	8.10	42,000	64杯
3	桜の堤上	4.00	4,800	7杯
4	桜の堤(下)	7.20	8,000	12杯
5	八幡池	4.50	4,500	7杯
6	向平原	3.50	3,700	6杯
7	南田	4.30	2,000	3杯
8	亀の甲	14.80	45,000	68杯
計			114,200	173杯

※25mプール換算は、25m(長さ)×17.5m(幅)×1.5m(高さ)≒600m³とし、総貯水量を元に計算しています。

※令和4年度の改修工事によって、洪水時の高さが高くなり、貯水量が減少するため、浸水範囲は狭まることが想定される。

指定避難所

災害の危険から命を守るために緊急に避難をする場所。土砂災害、洪水、津波、地震等の災害種別ごとに指定。

【指定避難所のイメージ】

- 学校・体育館等の施設
- 公共施設等

指定緊急避難場所

対象とする災害に対し、安全な構造である堅牢な建築物。対象とする災害の危険が及ばない学校のグラウンド等。

【指定緊急避難場所のイメージ】

避難指示等がだされたら速やかに避難しよう

避難行動の心得

想定される浸水の深さを確認しよう

- 3m以上の浸水**
 - 2階以上に浸水
 - 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある
 - 必ず → **浸水しない場所**
 - 安全な場所へ移動する
 - 水平避難
- 0.5m～3mまでの浸水**
 - 2階までが浸水
 - 水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある
 - 避難が滞った場合は → **2階以上の建物**
 - 近くの丈夫な建物の2階以上に避難し、水が引くまでとどまる
 - 避難
- 0.5m未満の浸水**
 - 床下浸水
 - 大人の足で歩ける
 - 浸水の深さがヒザ上になると、歩行は危険
 - 避難が滞った場合は → **自宅にとどまる**
 - ひびやな移動はかえって危険
 - 屋内待機

河川洪水時浸水深

10.0m以上～20.0m未満
5.0m以上～10.0m未満
3.0m以上～5.0m未満
0.5m以上～3.0m未満
0.5m未満

■浸水想定区域の策定基準(河川)

本ハザードマップの浸水想定区域は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨(※)により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示しています。浸水想定区域は、想定を超える降雨が発生した場合、対象河川以外の支川、内水等の影響による氾濫がおこった場合等を考慮されておりません。浸水想定区域外においても浸水が発生する場合がありますので、十分ご注意ください。

(※)河川ごとの解析条件

対象	解析条件
秋光川	秋光川流域の6時間総雨量621mm
山下川(大木川水系)	想定される最大規模の降雨量624mm

ため池決壊時浸水深

3.0m以上
2.0m以上～3.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
0.5m以上～1.0m未満
0.2m以上～0.5m未満
0.2m未満

■浸水想定区域の策定基準(ため池)

本ハザードマップの浸水想定区域は、地形図や航空写真などから、ため池の決壊による浸水の恐れがある箇所を対象に、ため池の総貯水量に満水の状態で対象のため池が同時に決壊した場合に浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示しています。浸水想定区域は、決壊後の時間ごとの広がりを表記していますが、決壊が発生した場合は時間にかかわらず速やかな避難を心がけましょう。

対象	解析条件
ため池	総貯水量満水、8箇所同時決壊

凡例

ため池	対象ため池名	5分後	決壊後到達予想時間
指定避難所(町指定)			
指定緊急避難場所(町指定)			
避難場所(地区指定)			
避難方向(要事前確認)			
危険箇所(ボックスカルバート)(ため池の浸水範囲内のみ表記)			
			土石流警戒区域
			土石流特別警戒区域
			急傾斜地警戒区域
			急傾斜地特別警戒区域

縮尺 1 / 10000

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 2Jhs 790